

令和6年2月9日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5国道19号長野市信州新町日原西歩道工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

- 1 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式） 企業実績評価型
- 2 競争参加資格の緩和
- 3 難工事指定
- 4 余裕期間制度（フレックス方式）

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 飯田市役所記者クラブ 塩尻桔梗ヶ原記者クラブ
長野県庁会見場・長野市政記者クラブ・長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話:026-264-7001 (代表) メールアドレス:ktr-nagano-koho@gxb.mlit.go.jp

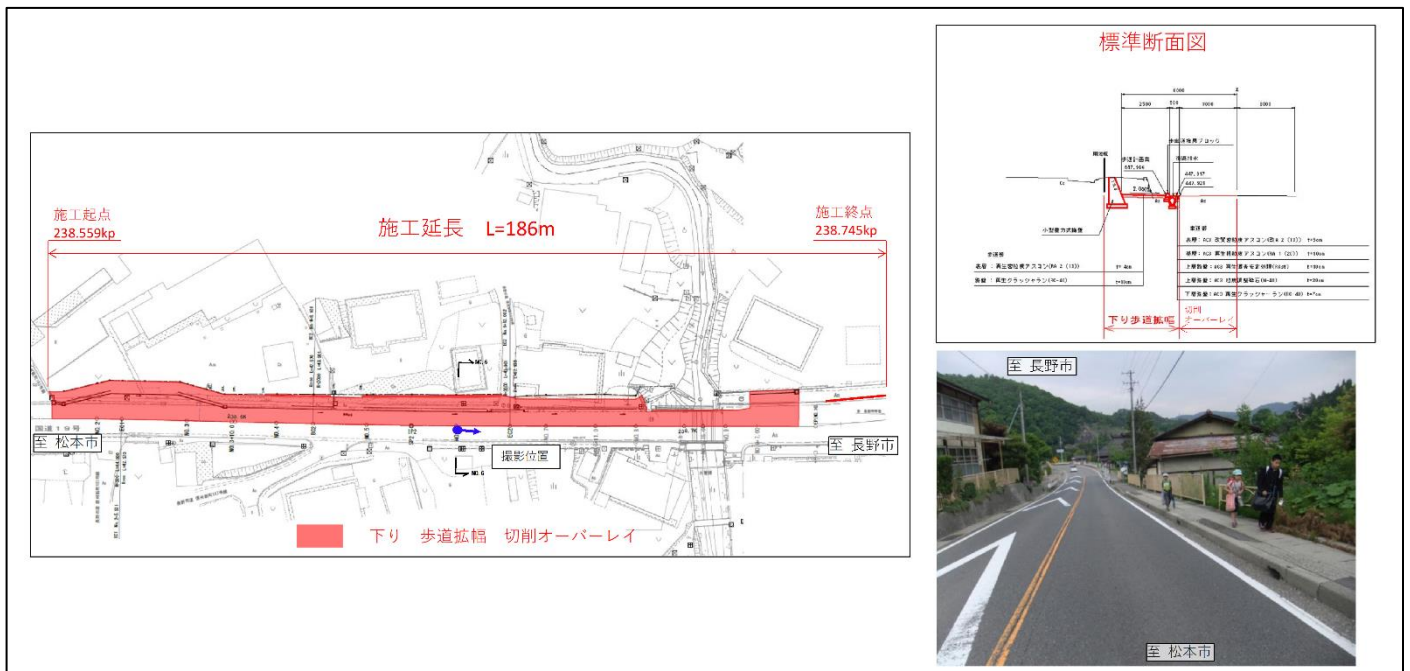
副所長 西東 俊郎 (さいとう としろう) (内線:205)

保全対策官 寺島 憲一郎 (てらしま けんいちろう) (内線:406)

《工事概要》

- (1) 工事名：R5国道19号長野市信州新町日原西歩道工事
ながのけんながのしんしゅうしんまちひはらし
- (2) 工事場所：長野県長野市信州新町日原西地先
- (3) 工期：：全体工期 契約締結の翌日から令和6年12月27日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：一般土木 C等級又はB等級
- (6) 工事内容（概要）：
- | | |
|-----------|----------------------|
| 掘削工 | 約 310 m ³ |
| 路体盛土工 | 約 50 m ³ |
| 車道舗装工 | 約 100 m ² |
| 歩道舗装工 | 約 280 m ² |
| 乗入舗装工 | 約 110 m ² |
| 切削オーバーレイ工 | 約 495 m ² |
| 排水構造物工 | 約 136 m |
| 管渠工 | 約 20 m |
| 集水枡工 | 13箇所 |
| 擁壁工 | 約 78 m |
| 縁石工 | 約 137 m |
| 防護柵工 | 約 45 m |
| 区画線工 | 約 542 m |
| 構造物撤去工 | 1式 |

■工事概要図



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

- 1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。
(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)
- 2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。
- 3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を「長野県内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」に建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 対象等級の拡大

競争参加社数が少数と見込まれることから、対象等級をC等級からC等級又はB等級に拡大します。

3) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「擁壁工」に限定せず、「コンクリート構造物工」として緩和をします。

3. 難工事指定

本工事は、国道19号において、昼間の作業となり、片側交互通行規制を行いながら車道舗装等を施工することから、厳しい安全管理が必要であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間が評価対象となります。

4. 余裕期間制度（フレックス方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和6年12月27日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

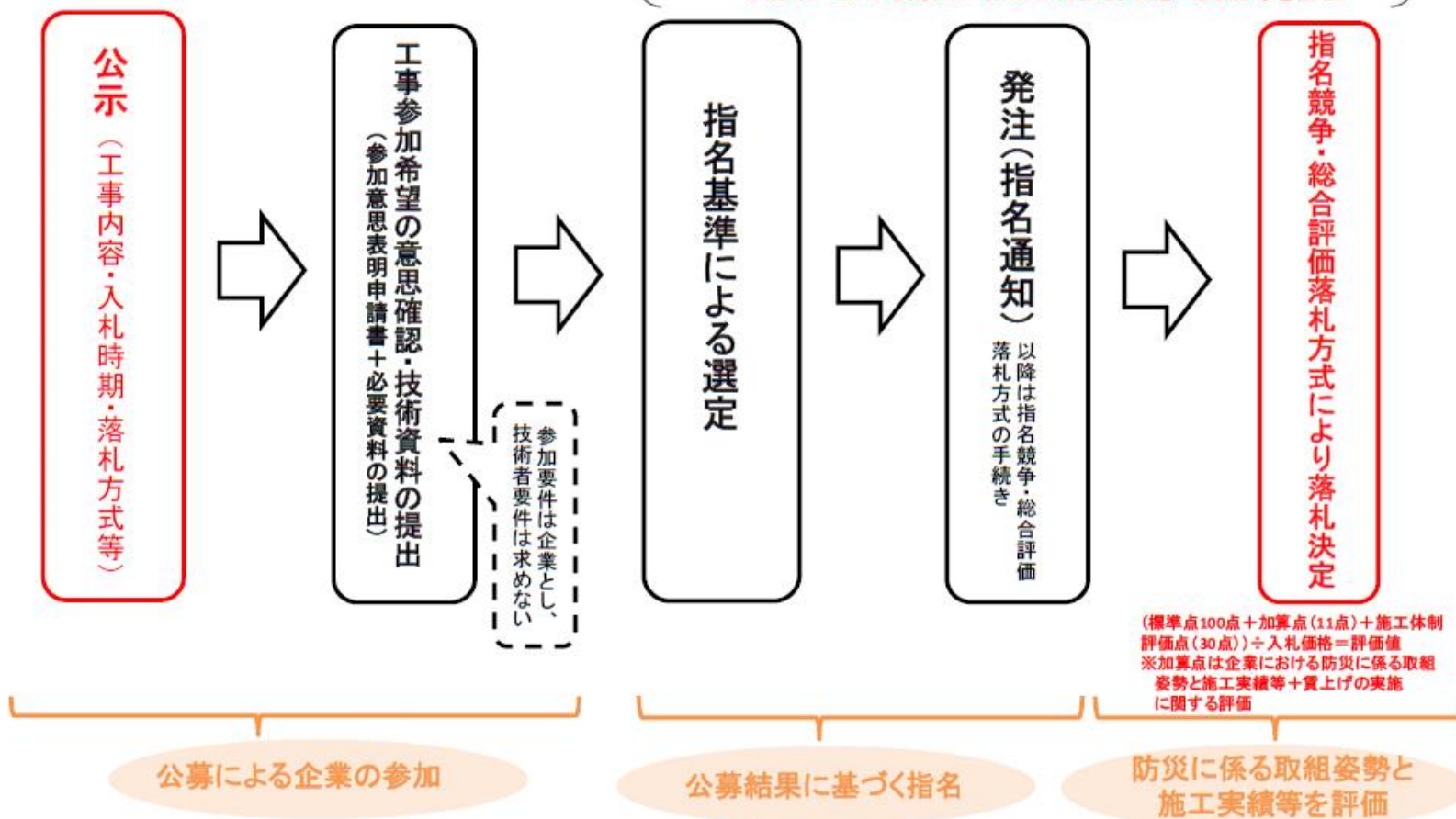
《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	：令和 6年 2月 9日（金）
○技術資料等の提出期限	：令和 6年 2月21日（水）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	：令和 6年 4月15日（月）
○開札日	：令和 6年 4月18日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価



概略工事工程表

工事名： R5国道19号長野市信州新町日原西歩道工事

工 種	単位	数 量	令和6年度									備考 (パーティ(pt)数等)	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
準備工	式	1											40日間
道路土工	m3	360											(1pt)
舗装工	m2	985											(1pt)
排水構造物工	m	156											(1pt)
擁壁工	m	78											(1pt)
縁石工	m	137											(1pt)
防護柵工	m	45											(1pt)
区画線工	m	542											(1pt)
構造物撤去工	式	1											(1pt)
後片付け工	式	1											20日間
制 約 条 件	関係機関協議	1件											警察協議(施工届け)
	支障物件の移設	—											電柱移設済み
	年末年始、お盆	—											ゴールデンウィーク、お盆
	路上工事抑制	—											

余裕期間
 ※任意で設定可能

《余裕期間制度(フレックス)の活用について》

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期(余裕期間と工期を合わせた期間)の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間は、監理技術者等の配置が不要となります。

工事着手にあたっての関係機関協議について、施工計画書を基とした協議資料作成は受注者が行い、協議は発注者が主体となって実施します。